

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	瑞宝太鼓
住 所	長崎県雲仙市瑞穂町古部甲2504番地
電話番号	0957-77-3934

事業所番号	4211450517
管理者名	前田 康弘
対象年度	令和3年度

(I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="radio"/>	80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		20 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上	<input type="radio"/>	
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方 (※)

◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計 (注1)		9

点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上 (※)

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった		
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
◎ ⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
◎ ⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		6

点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	10 点
--	-----------------------	---------

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	80
生産活動	5点	20点	25点	40点					20
多様な働き方	0点	15点	25点	35点					35
支援力向上	0点	15点	25点	35点					25
地域連携活動	0点	10点							10

合計	
170	点 / 200点

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

## (Ⅰ) 労働時間

前年度（令和 2年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	27,386	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,631	人	利用者の1日の平均労働時間数	7.5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

## (Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（平成 30年度）

生産活動収入から経費を除いた額	21,193,351	円	利用者に支払った資金総額	20,084,029	円	収支	1,109,322	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和 元年度）

生産活動収入から経費を除いた額	15,432,622	円	利用者に支払った資金総額	21,382,571	円	収支	▲ 5,949,949	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

## (Ⅲ) 多様な働き方

前年度（2年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

## ① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数	0名
※取得を進めた免許等：	
制度の活用内容：	

## ② 利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	0名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
登用した日	年 月 日
勤務形態	
就業時間	時 分～時 分
職務内容	

## ③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	0名
※実施した期間	月 日～月 日
就業時間（在宅勤務）	時 分～時 分
職務内容	

## ④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	0名
※実施した期間	月 日～月 日
就業時間（コアタイム）	時 分～時 分
職務内容	

## ⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	7名
※実施した期間	4月1日～3月31日
就業時間（短時間）	8時00分～16時00分
職務内容	和太鼓興行、施設外支援等

## ⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	6名
※実施した期間	4月1日～3月31日
就業時間	時 分～時 分
就業時間（退出の場合）	13時00分～21時00分
職務内容	和太鼓講習

## ⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	9名
◎計画的付与制度を活用した人数	0名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>
	計画的付与制度 <input type="checkbox"/>
取得した期間	4月1日～3月31日
取得日数・時間	日 15時間

## ⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	1名
※取得した内容	自然気胸
取得した期間	R2.7月14日～8月17日
就業時間	8時00分～17時00分
職務内容	和太鼓興行、施設外支援等

（※）当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

## (Ⅳ) 支援力向上

前年度（2年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

## ① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎研修実施回数	外部 5回／内部 16回
対象職員数	5人
うち研修受講者数	5人
※研修名	運動機能アッププログラム研修
研修講師	松浦亜希子
実施日・受講者数	7月 21日 3人

## ② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	0回
※研修、学会等名	
実施日	
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

## ③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input type="checkbox"/>
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

## ④ 販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	5回
※商談会等名	南島原市校長会
主催者名	南島原市校長会（南島原教育委員会）
日時	1月 14日
内容	障害者夢大使、学校公演等の営業

## ⑤ 職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	H28年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	5名
うち昇給・昇格を行った者	5名
当該人事評価制度の周知方法	各拠点での説明会の実施

## ⑥ ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

## ⑦ 第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

## ⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input checked="" type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

（※）実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	瑞宝太鼓
住所	長崎県雲仙市瑞穂町古部甲2504
電話番号	0957-77-3934

事業所番号	4211450517
管理者名	前田康弘
対象年度	令和2年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

**活動場所** 諫早市、島原市、雲仙市、南島原市

**実施日程** 令和2年4月1日～令和3年3月31日

**実施した生産活動・施設外就労の概要**

地元島原半島及び諫早市内の農業耕作地での農業生産物ジャガイモ、ニンジン、大根、白菜、しょうがなどの収穫作業、管理作業等。

**利用者数** 延べ 1,231名

## &lt;目的&gt;

**地域連携活動のねらい**

障がい者が地域の事業に貢献することで信頼を高め、そこで培われた関係がコロナ後の興行活動にもつながっていく、いわゆる「応援団」を増やす一助とする。そのことで出来る連携は双方にとって地域に根差すことにつながる為の基盤となっていく。

**地域にとってのメリット**

「日本の胃袋」とも称される農業生産の盛んな島原半島において、高齢化、農業放棄地の拡大、担い手不足が地域課題となっている中、農福連携を推進し、地域課題の改善に向けた地域貢献を果たしている。

**対象者にとってのメリット**

アフターコロナを見据えて、体力の維持向上を図る。  
コロナ禍においても、給与維持のための収入を確保していく  
地域の方とのつながりを深め、理解者を広げていく。

## &lt;成果&gt;

**実施した結果**

年間を通じた作業については2事業所から継続依頼を受けた。  
更にはスポット的に 約10先からの要請を受け応じた。

**得られた成果**

法人事業主、個人事業主より複数年また単発等で依頼を受け就労に向いた。興行収入減少分を補うための収入の一部となり社員の給与の維持につなげることができた。

**課題点**

農作業でも細かい技術を要すること、また選別・判断などを要する作業は難しい。(作業内容の適性が見極めが必要)  
社員間及び事業所の従業者との相性等についても配慮が必要。

## &lt;活動の様子&gt;

**活動の様子の写真、成果物の写真**



**活動内容の追加コメント**

広大な諫早干拓地の農地での収穫等の作業、また半島一円に点在する農作地を移動しながら収穫等の作業を進めていく。  
体力、根気のいる仕事だが地域の方ともコミュニケーションを取りながら協力して作業ができています。

#### 連携した結果に対する意見または評価

- ・コロナ禍においても継続して従事してもらうことができた。
- ・季節の変化に伴う寒暖の中においても地道に取り組んでもらうことができた。
- ・単純な農作業の中で、個性豊かな社員と他の従事者とのコミュニケーションも多々あり、作業環境に明るさと温かさが出ていた。
- ・個々人の作業遂行能力やスピードに違いがあり、個々に応じた対応・工夫が必要と思う。
- ・農作業においても細かい技術また選別・判断・応用を要することには難しいところがあり、結果収穫作業が中心だった。

#### 今後の連携強化に向けた課題

- ・野菜は、生育・天候等にも左右されるので派遣元の事業所（職員）との調整、交渉を入念に図り、より有効な取り組みを進めていきたい。
- ・少しずつでも労働環境改善（暑さ対策等）を行っていきたい。

連携先企業名	藤武商店	担当者名	佐々木 様
--------	------	------	-------